平成24年度最高裁判所総合評価審査委員会（第4回（回議））
議事概要

開催日及び場所	平成25年2月13日（水）14日（木）15日（金） 各委員の本務先 (審議時間 各委員1時間)
委員	委員長 深尾 精一（首都大学東京都市環境学部教授） 委員長代理 浦江 真人（東洋大学理工学部准教授） 委員 伊室 亜希子（明治学院大学法学部教授） 河上 雅彦（経理局営繕課首席技官） 荻住 眞（同 次席技官）
委員からの意見・ 質問及びそれに対する回答等	別添のとおり なお、本件は書面による回議により審議することとした。

(別添)

1 平成24年度総合評価方式の実施方針の見直しについて【資料1】

平成24年補正予算執行に係る総合評価落札方式の変更について、説明。(①総合評価落札方式を実施しない工事について、②評価項目及び評価基準の見直しについて)

主な意見等は以下のとおり。

【委員】

裁判所の手持ち工事量の評価項目について、「公告日時点で施工済み又は施工中の…」とあるが、「施工済み」とあると、過去の工事が含まれるのか、含まれないのかが曖昧である。

【委員】

地理的条件の緊急時の施工体制の評価項目について、「隣接都道府県」とすると、定義が曖昧にならないか。

【事務局】

個別の工事の入札説明書では、隣接県を具体的に「〇〇県」と明記する運用をしている。

【委員】

その旨、評価基準に明記した方がよい。

【事務局】

評価基準が明確になるように修正する。